PSU-1382A(20120)

施工説明書

壁付収納棚

このQRコードは
メーカー管理用です。

TSF-102U
TSF-103U, TSF-103WU
LKF-1370U

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまに保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

❗……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

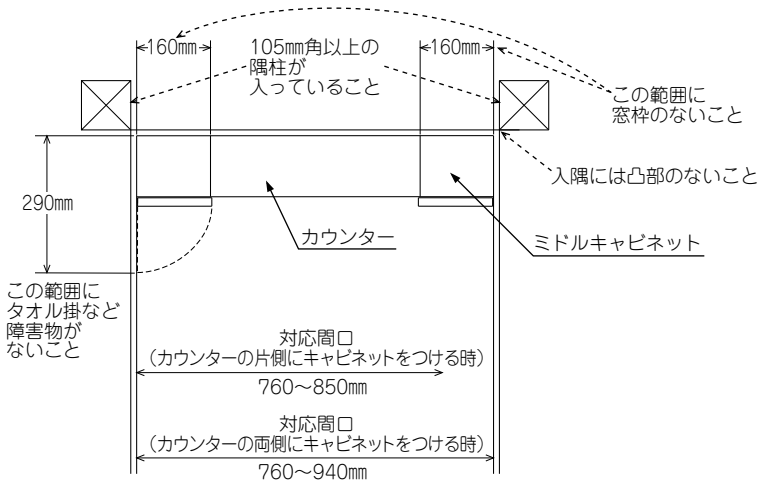
⚠注　意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※破損しケガする恐れがあります。	⃠
収納棚本体、扉、棚がガタついたまま、あるいは取付がゆるんだ状態でのご使用はしないでください。 ※物品等の落下、部材の外れによりケガをする恐れがあります。 （対処方法については、取扱説明書「修理を依頼される前に（12ページ）」をご覧ください。）	⃠
棚に物品を過剰にのせたりしないでください。 ※破損や落下によるケガの恐れがあります。 （棚の許容積載重量は５kg以下）	⃠
施工完了後は、扉の傾き、ガタツキ、蟇番のゆるみがないことを確認してください。またスライド蟇番の調節後は必ず、Aネジ、Cネジ、取付ネジが固く締めつけられていることを確認してください。 ※締めつけが不足しますと、蟇番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。	❗
ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに置いて使わないでください。 ※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。	⃠
直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。	⃠
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用して拭かないでください。 ※変形や変色の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）	⃠
キャビネットとカウンターは必ず同梱のねじで連結してください。 ※カウンターの固定が不安定で破損・ケガの原因となります。	❗
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具の破損やケガの恐れがあります。	❗

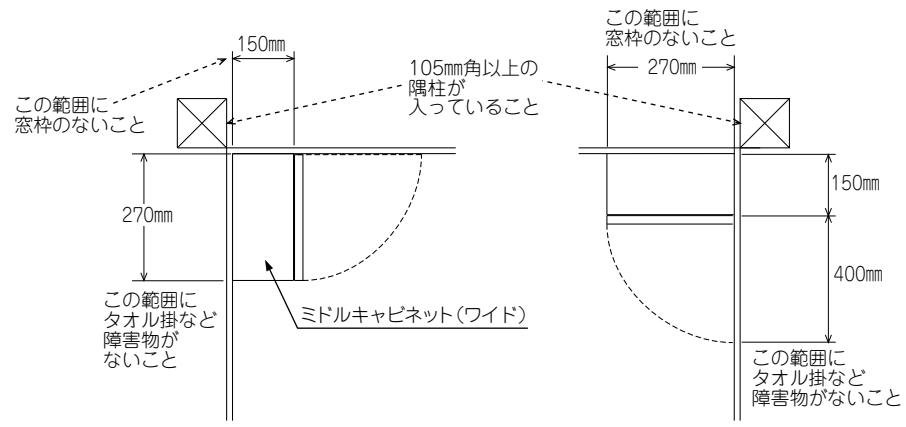
●施工前の確認

●この商品は専用金物を使って取り付けるため、壁裏補強が不要です。
取り付ける部屋の平面寸法が下記であることを確認してください。

〔カウンターとセットで取り付ける時〕

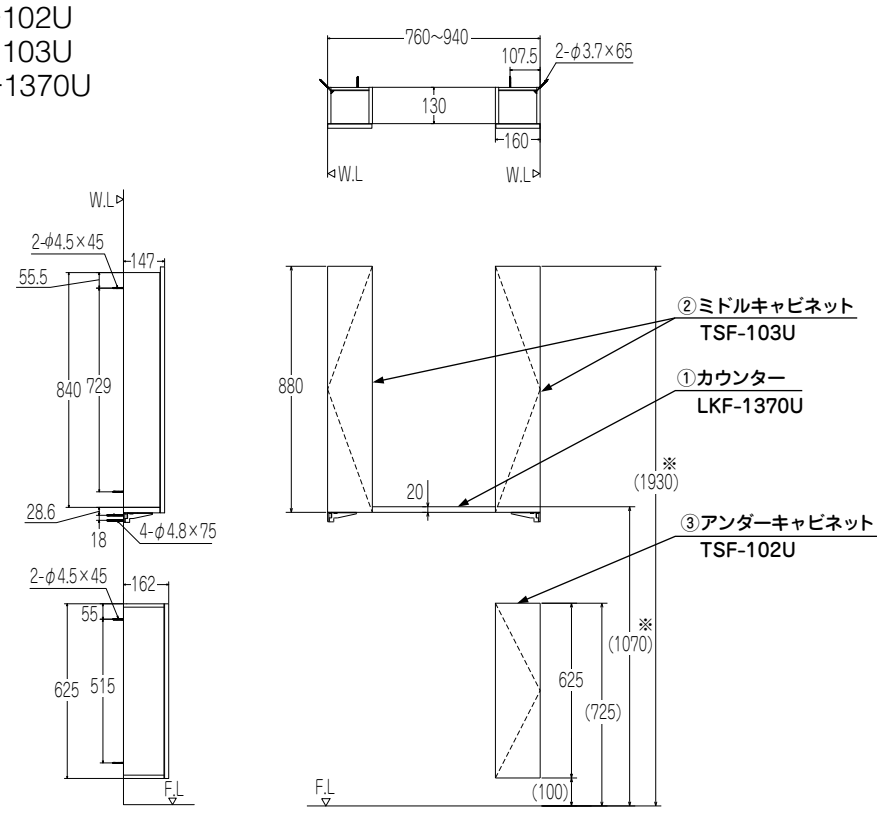


〔ミドルキャビネット（ワイド）を取り付ける時〕



●施工完了図

TSF-102U
TSF-103U
LKF-1370U



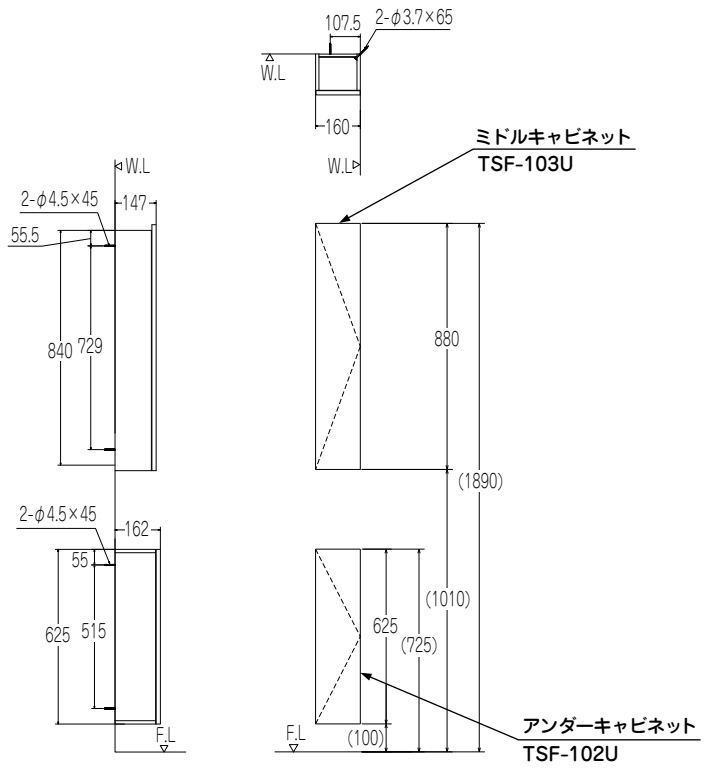
※シャワートイレの機種により寸法が異なります。詳細は次ページの〔カウンターとセットで取り付ける時〕を参照ください。

株式会社 LIXIL

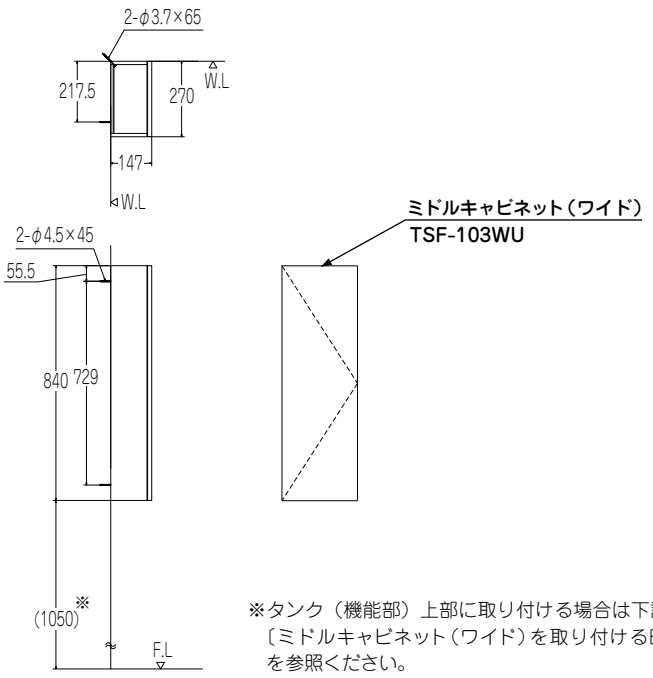
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

TSF-102U
TSF-103U



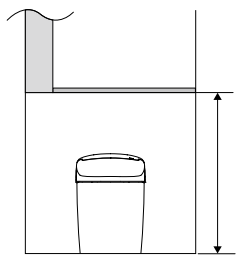
TSF-103WU

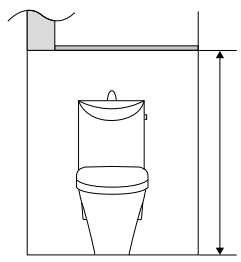


※タンク（機能部）上部に取り付ける場合は下記の〔ミドルキャビネット（ワイド）を取り付ける時〕を参照ください。

●それぞれの設置高さは、リフトアップ機能使用時にロータンクや吐水口、便フタを開けたときに当たらない場所に設置してください。また、扉開閉時にロータンク・吐水口・便フタを開けたときに当たらない場所に設置してください。
※下記寸法は参考値になります。

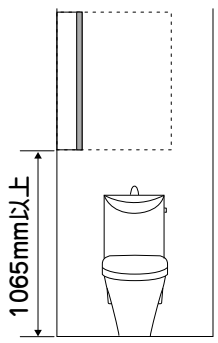
〔カウンターとセットで取り付ける時〕



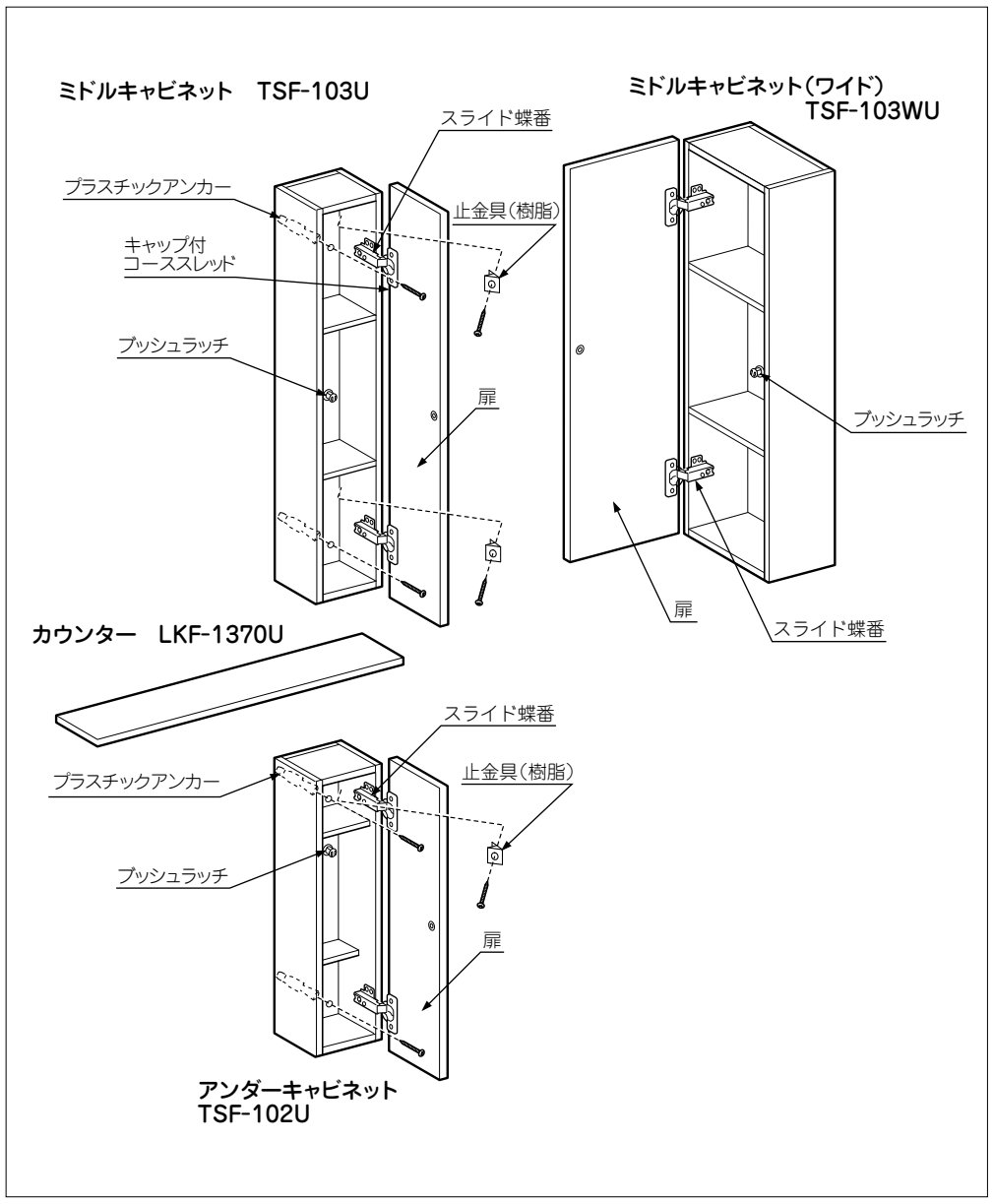


タンクレスの場合	タンク付きの場合	
サティスGタイプ・サティスSタイプ	アステオ	アステオ以外
1150mm以上	1165mm以上	1150mm以上

〔ミドルキャビネット（ワイド）を取り付ける時〕



●各部の名称



●同梱部品

アンダーキャビネット TSF-102U

部　品　名	数量
止金具（樹脂）	2個
キャップ付コーススレッド φ4.5×45	2本
木ねじ φ3.7×65	2本
プラスチックアンカー	2本
化粧シール（木ねじ頭隠し用）	2個

ミドルキャビネット TSF-103U

部　品　名	数量
止金具（樹脂）	2個
キャップ付コーススレッドφ4.5×45	2本
木ねじ φ3.7×65	2本
プラスチックアンカー	2本
化粧シール（木ねじ頭隠し用）	2個

ミドルキャビネット（ワイド）TSF-103WU

部　品　名	数量
止金具（樹脂）	2個
キャップ付コーススレッド φ4.5×45	2本
木ねじ φ3.7×65	2本
プラスチックアンカー	2本
化粧シール（木ねじ頭隠し用）	2個

カウンター LKF-1370U

部　品　名	数量
連結金具	2個
壁固定金具	2個
座金付小ねじ	2本
木ねじ φ4.8×75	4本
トラスねじ φ4×12	4本
トラスねじ φ4×30	4本
当たり止め（バンポン）	1個

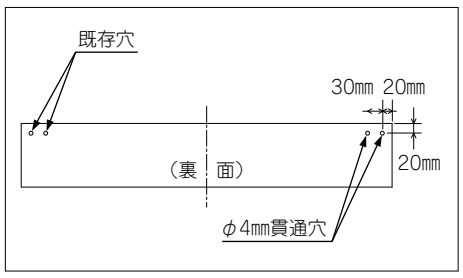
●施工方法

1. カウンターの取付け（LKF-1370U）

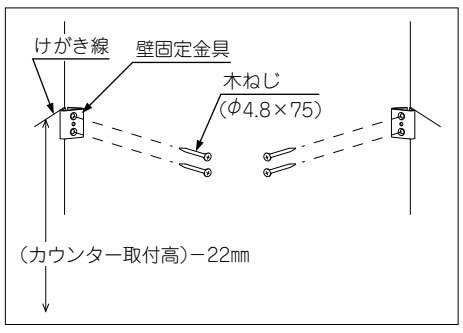
施工のポイント **間口調整は、カウンターと壁とのすき間で調整します。カウンターの切断は不要です。**

(1)〔ミドルキャビネットをカウンターの両側につける場合のみ〕

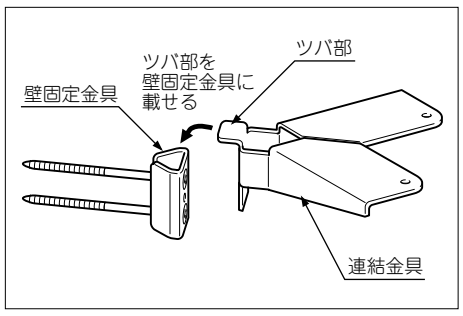
カウンターに下穴２個を追加します。
右図の位置にφ4㎜の下穴をあけます。



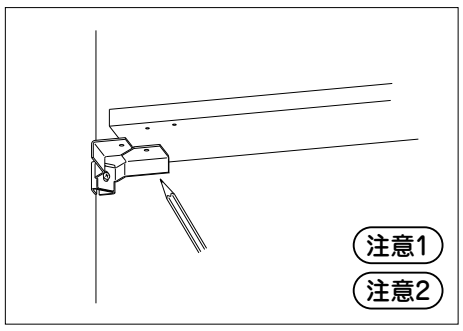
(2)壁固定金具２個を取り付けます。
①取付けカウンター高さから－22㎜の位置をけがきます。
②壁固定金具の上端をけがき線に合わせ、同梱の木ねじ（φ4.8㎜×75㎜）で固定します。



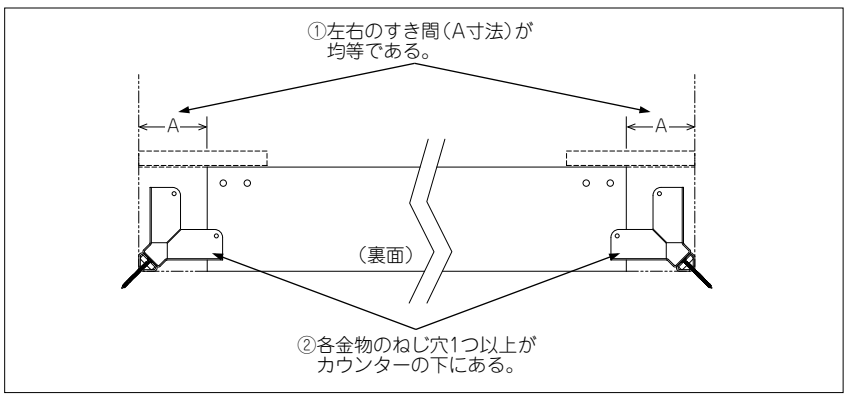
(3)壁固定金具に連結金具を同梱の座金付小ねじで固定します。



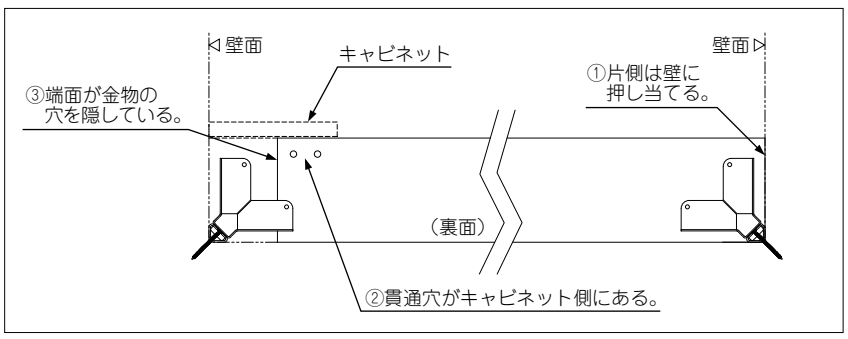
(4)カウンターを載せて左右の傾きを調整して、カウンター裏面に連結ねじ穴をけがきます。



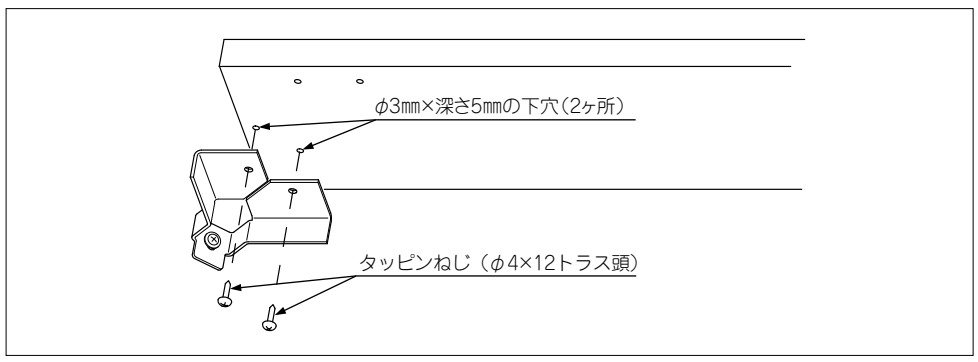
施工のポイント **ミドルキャビネットを両側につける時**
下穴をけがく時は、下記①②を確認してください。



施工のポイント **ミドルキャビネットを片側につける時**
下記①～③を確認してください。

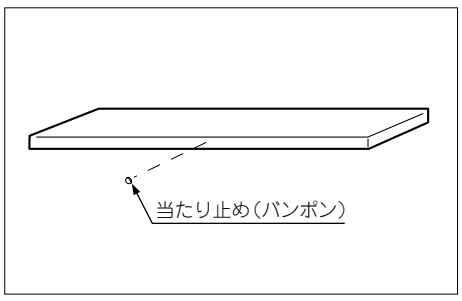


(5)けがいた位置にφ3㎜、深さ5㎜の下穴をあけ、同梱のねじ（φ4㎜×12㎜トラス頭）で固定します。



(6)〔サティスとの組合せで、便フタがカウンターに当たる時〕

カウンターに同梱している当たり止め（バンポン）を便フタのあたる位置に貼り付けてください。

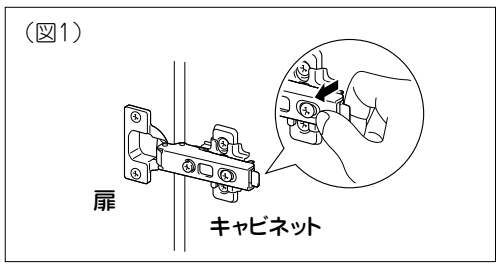


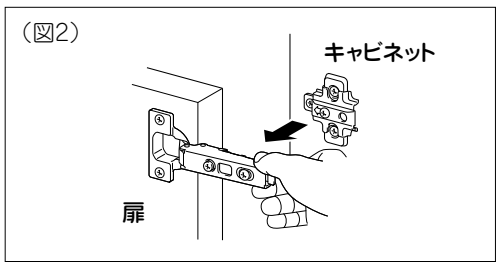
2. キャビネットの取付け（TSF-102U, TSF-103U, TSF-103WU）

施工のポイント **キャビネットは天地を反転させることで、L・Rを共用としています。**

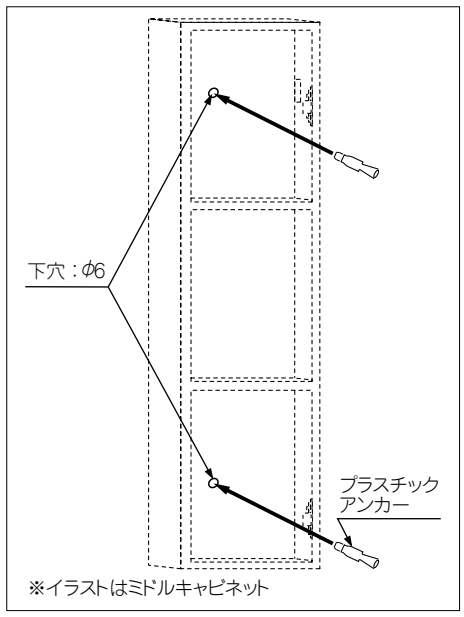
施工のポイント **カウンターとセットで取付ける時は、先に取付けたカウンターの上に乗せて作業すると、取付位置出しが楽です。**

(1)キャビネットの扉を外します。
●蝶番の先端のつまみを矢印の方向に引き上げ、ロックを外します。（図1）
●蝶番を矢印の方向に引っぱって外します。（図2）



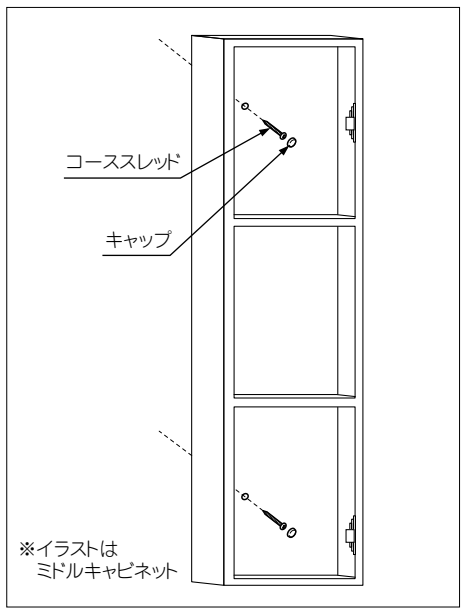


(2)キャビネットを取付ける高さに合わせて、背面用取付穴のネジ位置を上下2箇所けがき、φ6㎜で下穴を開け、プラスチックアンカーを差込みます。（右図参照）



(3)キャビネットの背面取付穴とプラスチックアンカーを合わせて、キャップ付コーススレッド（φ4.5㎜×45㎜）でキャビネットを固定します。

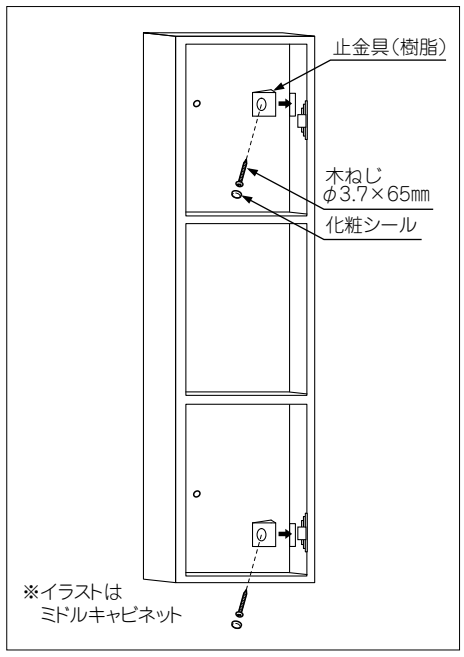
注意 プラスチックアンカーのねじ固定は電動ドライバーを使用しないで必ず手締めにて行ってください。



(4)上下2箇所に止金具をキャビネットの溝にはめ込み、木ねじ（φ3.7㎜×65㎜）で固定します。

注意 木ねじを強く締め過ぎないでください。キャビネットと止金具が変形する恐れがあります。

(5)木ねじのねじ頭に化粧シールを貼ります。



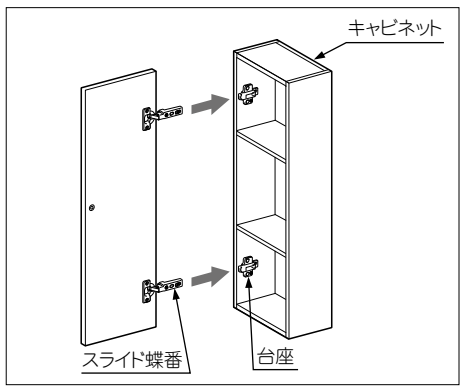
3. 扉の取付け

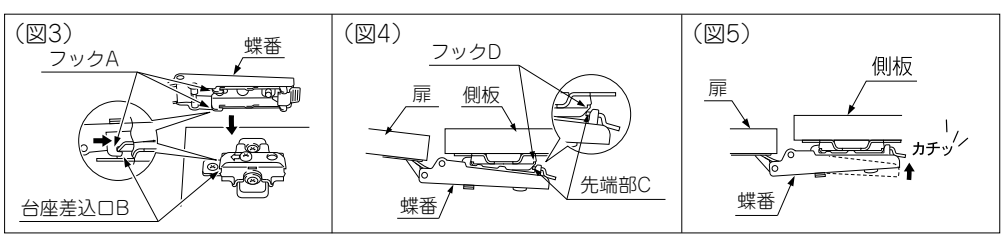
扉を以下手順でキャビネットに取り付けます。

①蝶番のフックAを台座差込口Bに引っかけます。（図3）

②蝶番の先端部Cのツメをフック D に合わせます。（図4）

③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。（図5）





※扉の蝶番がキャビネットに確実に結合していることを確認してください。結合が不十分だと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

※取付後に扉のズレ、傾きがあるときは蝶番を調節してください。（蝶番の調節は「●扉の調節」の項をご覧ください。）

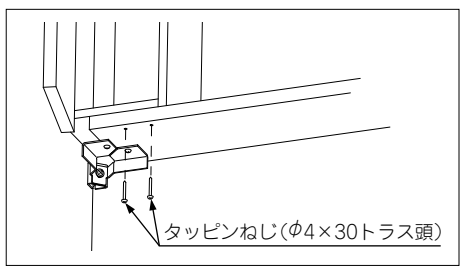
4. ミドルキャビネットとカウンターをセットで取付る場合

注意 ミドルキャビネットとカウンターは、必ずねじで連結してください。

※カウンターの固定が不安定で破損、ケガの原因となります。

カウンターに同梱されているねじ（φ4㎜×30㎜トラス頭）をカウンター裏面の下穴から打ち、キャビネットとつなぎます。

注意 締めつけ後、ねじが空転しないように、仕上げは手締めしてください。



●扉の調節

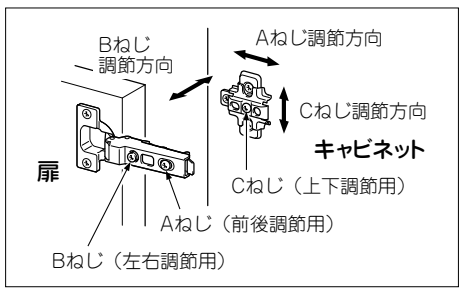
●スライド蝶番の調節

●調節する際はプラスドライバーをご使用ください。

●Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。

●調節後は必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。

※締付けが不足すると、蝶番がゆるみ扉の外れ落下の原因になります。



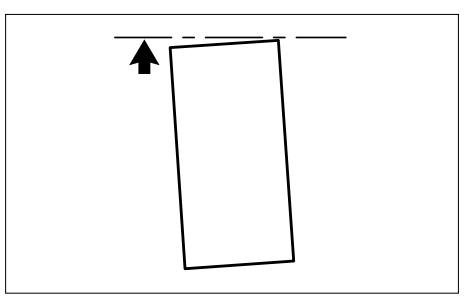
●調節方法

(1)扉の先端を上に上げるとき

①扉下方の蝶番のＢねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のＢねじを右へ回して調節します。

②扉を締めて確認します。

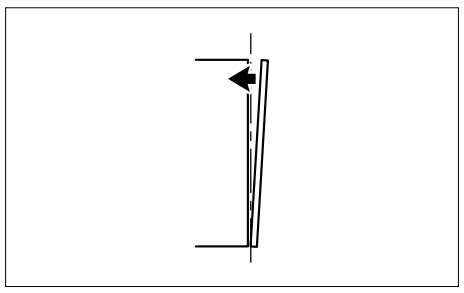
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



(2)扉と側板のすき間が上下違うとき

①扉上方の蝶番のＡねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。

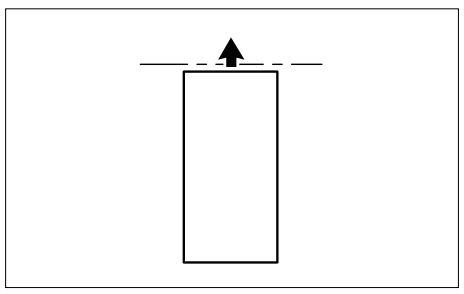
②正しい位置でＡねじを右へ回して締め付けます。



(3)扉の高さが上下にずれているとき

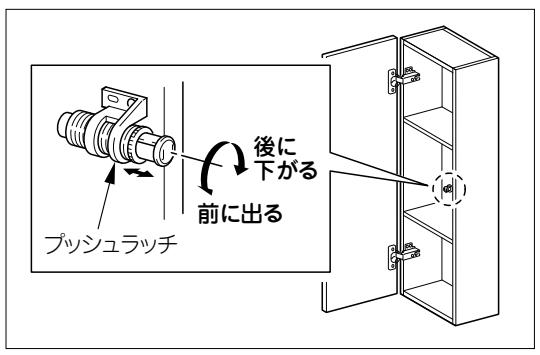
①扉の上下の蝶番のC ねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。

②正しい位置でC ねじを右へ回して締め付けます。



●プッシュラッチの調節

必要に応じてプッシュラッチ先端を前後させてください。



●施工後の確認

●キャビネットの確認

キャビネットの固定ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。

●扉の確認

●蝶番のA ねじ、C ねじが確実に締めてあることを確認してください。

●蝶番が確実に台座にロックされているか確認してください。